大正十三年十二月五日發行

婦人衛生雜誌

第三百七十五號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌　第三百七十五號目次

講演

○神經衰弱とヒステリー　醫學博士 丸井清泰述

叢談

○婦人の地位と國勢　ウイートストルック述 A、S、抄
○眼と鼻と物の味　莊司秋次郎述

育兒

○胎毒の話　醫學博士 竹內薫兵述
○乳兒の體操　醫學博士 三田谷啓述
○赤んぼの目　莊司秋次郎述

家庭衛生

○化粧料に就て
○色の組合せ
○殺鼠劑の迷惑

雜報

○小學校齒科衛生施設建議
○東京市の屎尿汲取料金改正
○乳幼兒死亡低減委員
○兒童教養通信相談部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會報

○十月四日午後一時半より共立女子職業學校に於て本會例會（婦人修養倶樂部と合同）を開き左の講話ありたり。

講話

一、源氏物語　御歌所寄人　金子元臣先生

一、敎育進步の要因としての生活と宗敎（文化と個性との關係より見たる西洋敎育思潮）　共立女子職業學校講師　石川謙先生

一、餘興（筑前琵琶）

○十一月一日午後一時半より共立女子職業學校に於て例會（婦人修養倶樂部と合同）を開く。

講話

一、我國の滑稽文學　文學士　長連恒先生

一、敎育に就ての種々なる考へ方　石川謙先生

○本誌第三百七十六號は十四年一月に發行可致候間何卒左樣御諒承被下度奉願候

○本會は玆數年來不幸打續き例會開催及び雜誌發行等も意の如くならず會員諸姉に對し誠に御申譯なき狀況に有之候へども目下悲運挽回策に就き凝議中に候へば必や新春と共に活躍致し得べき事と信じ申候就ては何卒會員從來の御同情により此處暫く忍容御援助の程伏て奉冀候

南部評議員逝去

あはれあはれ本會評議員とましゝ　男爵夫人南部限子刀自はや紅葉ばの未だ過ぬに去ぬる十月八日といふに心痛くも幽冥に入りましぬ玆に本會は刀自が顯世に座せし時の御勞を思ひまつりて畏み〳〵も誄たゝへまつる。

私立大日本婦人衛生會

設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや知識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一生を送らんことを皆ともに希はざるはあらじされども其身健康にあらざれは此生活を得んこといと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずとはいへども衣食住の改善育兒及看病法等の如きはいとも緊要の事にして皆吾等婦人のもつぱら學ぶべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相繼て起り婦人社會も漸く其面目を改めんとするは眞に喜ばしきことなりされども大の衛生の事に至りては更に注意を惑かざるものゝ如くまことに口惜しきことなり因りて頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一囘集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の講義演說談話を乞ひ互に相研究し尚之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに盡すあらんとす茲に本會旨趣の梗概を敍べて廣く江湖の諸愛姉に告げ其賛成を仰ふぐことしかり

明治二十年十一月

首唱者總代

私立大日本婦人衛生會規則摘要

(明治三十二年十二月改正)

第一條 目的 本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の知識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

●第二條 本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く

●第三條 本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得

●第四條 入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員章を交付す。入會後轉居等あるときは速に事務所に報知せらるべし

●第五條 會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金貳拾五圓以上、特別會員は一ヶ月金五拾錢以上、通常會員は一ヶ月金參拾錢を納むる者とす

●第六條 男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とす其會費は本會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる節は役員の協議に依り無會費とすることあるべし

●第七條 會員は本會に於て發刊する雜誌を無料にて受ることを得

●第八條 退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず

●第九條 本會に推薦員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るものとす

●第十條 本會に左の役員を置く 會長一名、副會長一名、理事七名、評議員二十五名、書記若干名

●第十一條 會長副會長理事評議員は隔年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は理事の推薦に依り會長之を命す但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし

●第十二條 會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し理事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る理事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす

●第十三條 臨時指名委員の件

●第十四條 會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生するときは次點者を以て補缺す

●第十五條 會長副會長理事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す

●第十六條 集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一囘とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし

●第十七條 毎會學識經驗ある人々に衛生上の講義演說談話を囑托し會員をして隨意聽講せしむるものとす

●第十八條 會員は家族の婦女若くは知已の婦人を本會會場に誘致し講義演說等を傍聽せしむることを得(但衣服は總て質素たるべき事)

●第十九條 講義演說等は男子の傍聽を禁す

●第二十條 規則の改正其他重要の件議定のこと

●第二十一條 毎年三月總會に於て會計の收支決算並に庶務の概要會員の增減等を報告すべし

●第二十二條 本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

●第二十三條 會計の收支は總て會計擔任の理事の檢印を要するものとす

●第二十四條 會計は一ヶ年毎に決算し翌年三月總會に報告すべし

支會

●二十五條 地方に於て本會會員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

●第二十六條 本會會員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報告すべし本會會員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす

●第二十七條 支會には支會限りの會員を置くことを得

●第二十八條 本會の雜誌は支會に回送すべきを以て其資費を支會より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者に就きても亦同じ

●第二十九條 支會は集會の都度其狀況を本會に報告すべし

●雜件

●第三十條 本會は隔月一回雜誌を發刊し之を會員に配附すべし

●第三十一條 會員又は會員外の者にして金圓若くは書籍物品等を本會に寄贈する者ある時は本會會長の名を以て謝狀を贈り寄贈者の姓名及品目を簿冊に登錄し尚本會雜誌を以て報告すべし

●第三十二條 會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に返信料を添へらるべし(郵券送一割增)

●三十三條 會費に東京府下に限り毎月領收人を差出すべし地方會員は總て前金とし小爲替にて本會事務所所在の郵便局(本鄕區駒込千駄木町郵便取扱所宛)振出しあるべし

●第三十四條 會員中若し本會の障碍となるべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議員會の決議を經て除名し若しくは廣告することあるべし

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

神經衰弱と「ヒステリー」

醫學博士 丸井清泰述

近來、神經衰弱、「ヒステリー」と云ふ二種の病名が俗間に濫用されるやうに見受けられる。青年が勉強に倦み少し頭痛でもすると直に自ら神經衰弱と診斷する、中年の女が偶々癇癪を起すと彼は「ヒステリー」と斷定する。而かもこれが諧謔的でなく往々眞面目に自、しか診斷して種々の賣藥を用ゐたり樣々の自己流の養生法を試みたりする。而して遂には非醫者乃至山師者の餌食となり、家庭を攪亂する樣なことが始まり、事實上精神病者に類した人間になり果てるのもある。これは決して馬鹿にならぬ事である。實際「ヒステリー」又は神經衰弱症の診斷は、世人の考へてゐるやうな容易なものではない、これは醫師の間に於ても餘程愼重なる診査を遂げた上でなければ妄に診斷治療に著手し得ないもので、誤診すれば從て治療方針が誤るから、治癒しないのみならず大概は却て增惡して複雜な症狀を呈し、いよ〳〵始末の惡いものになり易い。

この事に就て嘗て丸井博士が述べられた所は、實地醫家の爲に說かれたので、本會員諸姉には往々特に註釋を要するやうな言葉もあるが、大體お解りになる筈で、殊にその實驗をお讀みになれば、今日是等の病症を診斷治療するに必要なる精神分析の如何なるものであるかも會得される譯ですから、その神經衰弱症の定義と題する術語の多い一項を除いて全部そのまゝ玆に掲載さしていたゞく事と致しました。(編者)

神經衰弱と「ヒステリー」とを區別するに、在來「スチグマータ」に非常に重きを置かれたり。一體「スチグマータ」といふ言葉は「キリスト」敎の歷史にその端を發し、基督の胸の傷が熱心なる祈りに依つて信

者に移されると云ふ不可思議なる事實を意味したりその後魔術が盛んに行なはれたる時代には灼熱したる鐵を以て燒灼するも感覺なきことが罪の「スチグマ」とせられたり、當時の魔術師が即ち現今の「ヒステリー」患者に相當するものにして、「ヒステリー」の場合に規則正しく現はるる一定の症狀が即ち「ヒステリー」性「スチグマータ」と稱せらる。即ち此處に列擧する迄もなく觸覺、痛覺、温覺の異常、角膜結膜反射機能の異常、同心性視野減縮、作嘔反應の缺損、「ヒステリー」球、卵巣痛等なり。精神分析を行なふ醫師と爾餘の神經病醫とはこの「スチグマータ」を尊重する點に於て格段の差異を示す、前者が患者の身體診査を行なふは唯だ機質的疾患を除外する必要あるがためのみにして、機質的疾患でないことが分れば直ちにその症例の精神的特徴に精細なる診査を進むるものなるも、後者は患者の精神狀態を詳細に研究せんとはせず患者の訴へを聞き終れば直ちに身體診査に移り先づ機質的合併症を除外したる後には所謂「ヒステリー」性「スチグマータ」を入念に探究し之を證明し得るや非常に滿足して「ヒステリー」の診斷を下し、若しこれなきときはこれに神經衰弱症の診斷を下すを常とす、輓近精神分析學の進歩により吾人はこの「スチグマータ」の存否を以前程重視せず、これなき場合と雖もその症例の心的機制が「ヒステリー」に一致するときはこれに「ヒステリー」の診斷を下すに至れり。序でにこのことは强迫觀念性神經症その他神經官能症と神經衰弱との區別にも同樣にしてやはり心的機制によつて判斷を下すに至れり。

「ヒステリー」の心的機制を說明するには、精神軋轢より說かざるべからず。凡そ吾人の行動即ち外界に對する反應は吾人の精神界に存する二つの相反する傾向の軋轢の結果起るものなり。この二つの傾向の内一方が壓迫され他方が滿足され或は兩者の妥協が成立して初めて一定の行動が實現さるゝに至る。例へば、吾人が散歩の途上他家の庭内に美しき花を

目撃すと假定せよ、吾人の精神界にはこの花をもぎ取り持行きたしとの慾望が一方に起ると同時に他方に於て吾人の理性はこれをもぎ取ることが德義上悪きことなるが故にこれを禁ずべし。こゝに兩者の間に精神軋轢を惹起す、然して慾望つよくして理性の壓迫作用敗るゝか、或は理性の壓迫作用が打勝ちて慾望が敗るゝかにより、吾人の行動は花を折取るか花を折らずして行過ぎるかの二途の內一途を選ぶこととなるべし。又例へば此處に一婦人ありてその友の家に兇事起りたりと假定せんに、彼女の理性は直ちに友家に赴き彼を慰めその他社會の一員として又友として爲すべき義務を果さんことを要求すべし、今若しこの婦人に利己的或は非社會的慾望強くしてその義務を果すことを肯するを欲せずとせば、こゝに兩者の間に強き精神軋轢惹起せらるべし。今この際彼女が精神軋轢の餘、不知不識の間に頭痛腹痛等を感じ終にその義務を果さゞりしものと假定す、然かも彼女には腹痛頭痛を起すべき何等身體的原因なかりしとせば、吾人はこの腹痛頭痛等は理性と慾望との軋轢の結果兩者の妥協成立しその結果身體症狀を生ぜるものとして、彼女はこの頭痛腹痛により一方に自己の非社會的慾望を滿足し同時に義務を果さゞりし怠慢が理性より受くべき苦しき非難を免かれ得べし、唯だこの場合には精神軋轢により經驗すべき痛苦は身體の病苦に代へられ身體症狀としてあらはるゝなり。この場合注意すべきは、本人が明らかに意識して作病しその責任を逃るゝにあらず一定の義務を逃るゝ遁辭として無意識的に些細なる身體症狀を生ずる傾向は廣く人間に見らるゝ現象なり。斯くの如く精神軋轢起りその際に存する苦痛の感情が身體症狀に誘導され變形さるゝことが卽ち「ヒステリー」心的機制の本體にして、一般に「ヒステリー」と稱せらるゝ病症はこの機制により生ず但し「スチグマータ」を具備せざる所謂不安性「ヒステリー」にありては、精神軋轢が起りその際に存する苦痛の感情は身體症狀に變化せずして不安、心

配、恐怖等に變化するなり。「ヒステリー」性身體症狀を生ずるにあたり、一定の身體部位に素因ある場合には症狀は好んでその部位に現出するものなり例へば一定身體部位に嘗て外傷、炎症等ありその部位がその人格に大なる意味を有する場合或は外傷等なきもその部位が性的に意味ある時には「ヒステリー」症狀は好んで此處に發現する。例へば足部に外傷を受けたる後にその足に「ヒステリー」性麻痺を起すが如きこの例なり。

今此處にフロイドの分析せる「ヒステリー」患者エリザベスの例を說明すれば、「ヒステリー」の心的機制は讀者に一層明瞭となるべし。彼女は最愛の病父の看護に從事せしが、一夕家族の勸めにより外出し夜會に參列せり、その際彼女は一青年に解逅し病父のことを全く忘れて愉快なる一夕を過しこの青年に送られて家に歸るや父の病狀甚だしく增惡せるを發見せり、こゝに於て彼女は自己の愉快のために病父の看護を怠りたることに對し道德的の烈しき精神軋轢を經驗したるが、やがてエリザベスは右側大腿前面に限局せる痛覺帶を見出せり、精神分析の結果はこの部位は彼女が病父の痛む足の繃帶を交換する際每に病父の足を乘せその重みを感じたる部位なりしこと明かにせられたり。即ちこの場合は烈しき精神軋轢による痛苦は壓迫せられて意識外に放逐され、その代りに素因ある身體部位に於ける身體症狀として現出せるものにして、その症狀の意味は以上の事情が分析的に明らかにされて初めて理解されたるものなり。論じてこゝに至れば「ヒステリー」症狀は精神的苦惱或は道德的罪惡感の身代りとして役立つものと考へ得べく、又精神的に苦しき立場に存する人に苦惱より逃るる避難港の意義を有するものと見得るなり。

實際苦しき境遇に置かれたる人々が不知不識の間に種々の「ヒステリー」性身體症狀を生じ、苦しき現實より避難し家族よりは寬大に取扱はれ、或は病院に入り或は轉地旅行等によりて苦しき周圍より遠

ざかれるが如き例は、吾人の屢々見るところにして患者は苦しき現實より病氣に避難せるものと見るべきなり。

余はこゝに最近に於て分析したる一例を述べその心的機制を説明せん。

患者は二十七歳の某中學校敎師、父は腦溢血にて死亡したる外特記すべき遺傳素因なし、小兒期健全、本疾患に罹る迄著患なし。○○學院○○部を卒業し未だ獨身生活を營み居たり。學校卒業後東都○○呉服店に昨年迄事務員をなし居たるが、本年春紹介する人ありて某中學に奉職することになれるが、患者は學生時代柔道をよくし三段迄昇進し居たる關係上、語學敎師の外柔道敎師を兼ぬることになれり。然るに未だ曾て病むことなかりし患者が就職以來氣力勝れず健忘症を起し頭が「ボンヤリ」すること、疲勞感、左側頸背部の緊張感及び痛感、右側大腿前面に起る電擊性疼痛等を訴ふるに至り、十月末我外來に治を乞ふに至れり。

患者自己は自己の病症の原因として職業を急に變更し且つ語學柔道兩方の敎授により身體精神の過勞を招來し神經衰弱症に罹れるものと思ふと云へり。

檢診するに患者の精神狀態に著しき畢常なく智力に何等缺陷を示さず、氣分は勝れず勉强の出來ざる點が心配なりと訴へ、身體診査の結果は著しき所見はなく唯だ右側大腿前面に極めて輕度なる觸覺鈍麻を示すのみにて他に著しく認むべき「スチグマータ」は證明されざりき。右側大腿前面の觸覺鈍麻よりしてこの症例が「ヒステリー」なることは察するを得たるも、その鈍麻たるや極めて輕度にして尙ほこの患者の精神狀態が通常「ヒステリー」患者に見る如き感情轉變等著明ならず、ために一時「ヒステリー」にあらずして神經衰弱症にあらずやと考へられたり。

余はこの症例を多數の醫師に診察せしめなば神經衰弱症の診斷を下す者比較的多かるべしと考へた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り、然るにこの患者の精神分析を行なひたる結果は病症成立の際に働ける心的機制は明らかに「ヒステリー」のそれに一致することを明らかとなれり。この症例の精神分析を詳説することは避け、患者が「ヒステリー」に罹るに至れる經路の大體を述ぶるに止めん。患者は柔道三段の腕前を有し立技に於ては可なりの自信を有せしが、患者の赴任せし中學の柔道部は隨分盛にして學生中に有段者多數に存し殊に患者の不得意とする寢技を得意とし居たるが故に、段に於ては患者よりは劣りしも實力に於て隨分手剛はく時には却つて生徒に對し「ヒケ」を取る傾もある程なりしものの如く、且つ柔道部に於ては自己の意見よりも先輩の意見寧ろ重要視せらるゝ傾向にありき、これに依つて患者は就職後僅かに一週日にして早くも退職を欲せしが世話し呉れたる人に對する義理よりして强ひて教授を續け居たり、七月各學校柔道部試合前の如きはその練習隨分猛烈なりしといふ然かも無理々々之を續け來りしが常時は不眠症に惱めりといふ。

患者の云ふ處によるに、語學教授は素養も十分にあり困難なかりしも柔道教授に疲勞したる身には豫習は可なり困難なりしといふ、要するに患者は病症の原因を凡て身體の過勞精神の過勞に歸し居たるが、是等は補助的原因としての意味は或は存するならんも眞の原因は自己に自信なく又教師としての威信更になき狀態に於ける柔道教授は患者の堪へ得ざる精神苦惱の種となり早々辭職せんとの希望起りしも紹介者に對する義理、名譽心等はこの希望との間に强き精神軋轢を惹起し、これが「ヒステリー」の心的機制により解決さるゝに至れるものと考へざるべからず。患者は斯くして得たる病症により自己をいたはり又地轉旅行に出かけ自己の苦しき立脚地を一時避くることとなれるなり、然してこの際患者は己が柔道の力が學生の夫れに劣ることを承認することはその自尊心に對し甚だしき苦痛なるが故に、極力この考を壓迫し意識外に放逐せんとしその結果

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は單に精神身體の過勞のみが自己病症の原因たるが如き考へを起すに至れるものと解せざるべからず。而してこの場合に於ける精神軋轢の苦惱卽ち自己が柔道敎師として任務を十分果し得ざることについての苦しき感情は身體症狀に誘導され變化されその症狀に苦しみ惱む結果となれるものにして、この場合には柔道寢技に於て常に締める際に外傷の好んで働く頸背部及び幼時足に外傷を受け化膿したる際淋巴腺炎淋巴管炎を起し疼痛を感じたる右側大腿前面が素因ある身體部位としてこゝに前述の症狀を訴ふるに至れるものなり。

この心的機制の說明卽ち病症の精神分析學的說明は患者の完全に承認する處となり患者は自己病症の成立の有樣を理解すると共に適度の運動旅行等により所謂美化作用を行なはんと努力するに至り、一方に於ては溫泉療法により患者の云ふ處の過勞を醫し症狀非常に輕快して殆ど全快の域に達し且つ來學年よりは柔道の敎師を辭し語學專任敎師として奉職し柔道には假令敎師となるとも責任輕るき狀態卽ち助敎の如き位地に置かれんことを希望するに至れり。余はこの場合の治癒は單なる溫泉療法、轉地療法等によるものとは異なり、患者が再び學校に復歸すとも病症の再發を來すことなかるべきを信ぜんとするものなり。

然のみならず患者は精神分析により自己を理解し又種々の心的機制を同時に會得し得るに至れる結果今後は從前よりも一層よく自己を處理し境遇に順應し得べきを信じて疑はず、前述の如く本例には實際に身體精神の過勞があり患者自己もこれを病症の原因と主張せるも、その原因は精神軋轢に存す、卽ち身體的原因によらずして精神的原因により起れるなり。神經衰弱と「ヒステリー」の區別はこの差別に存するものなり、而して、神經衰弱は疲憊により起るものなるが故に單に溫泉、旅行、休養等により治し得るも（他に精神性に起る病症の合併なき場合には）「ヒステリー」その他精神的原因により起る諸

症は單に後者によりては治するを得ず、假令これにより一時輕快することありともその原因除かれざる故に再發を來すや必せり須く精神的療法を行なはざるべからず、而して精神分析療法は現今に於てはその最も進歩したる科學的療法にして暗示療法の如き盲目的のものとは大に趣を異にす、神經官能症の治療は要するに各症例に就いてその成立の有樣原因を探究し精神的原因によるものはこれを精神分析學的或は個性學的に研究し理解と說明により病症の治癒をはかるを要し、この方法によらざれば又決して完全に行なはれ得るものと云ひ難し。

叢談

婦人の地位と國勢

ウィートストルック述

A S 抄

これは一獨逸人が自國の現狀を觀察しての立論ではあるが、今日の文明國民全般の痛切に感じつゝある所に觸れてゐるやうに思はれるので、こゝに抄譯して讀者の一粲に供する次第である(譯者)。

『人類繁殖の準繩』と云ふ一論文に於てドクトルグロートヤン敎授が産兒數高上の一手段として、三兒以上を有する夫婦は、これを經濟上擁護すべきことを推奬した。然るに、その冒頭に於て、富裕なる者、卽ち經濟上好況に在る者が、産兒制限に於て

は、餘り裕ならざる階級に屬する者よりも一歩進むで居ることを確證して居る。こゝに矛盾がある。そこで私は、この關係を闡明せんと試み、その際ドクトルグロートヤン教授の觸れなかつた一點に突當つた。

私は戰爭前に長い間伯林に居つたが目下は殆ど全部勞働階級、小市民乃至中流階級に屬する住民ばかりの中等都會に居住して居る。この周圍には一小部分の小作農民の外に有福な土着の百姓階級がある。此等の百姓や商人及び工業に從事して居る者の大部分は食ふ事には困まらない。それにも拘らず矢張三人或はそれ以上の子供の有る家族は稀で、兎も角も平均に於て、數年來著しく收入が減じ、一部分は眞に難澁の狀況に陷て居る所の同等の社會的地位に在る役人の家族よりも多いことはない。試みに此等の親達と談話のついでに、子供の增殖問題に就て、その意見を聽いて見ると。男親は大抵經濟的理由を持出す。それらの話からして、三人乃至四人の子供の養育は彼等の收入の精一杯の處であると云ふことを認めると、これに由て直に本問題の解釋を進め、或は彼等の生活狀態は一層不良に陷る可き筈だとの結論をすることになる。

そこにゆくと婦人は通常幾分正直に且つ自然的の答をする。卽ち『私は一人或は二人の子供でもう十分厄介を見て居ります』と云ふ。これで以て、私の睨むで居る處が從來餘り世の注意を惹かなかつた點が暗示される。

現今育兒上に唱へられる要求は、以前から見ると非常に多くなり高くなつて、小兒の擁護、その身體の良好なる發育と云ふことに就ては以前から見ると非常に大なる價値を置かれるやうになり、小兒の榮養その他の取扱に關する詳細なる處方又は一切の起り得べき危害に對する用心などに關する書籍類が非常に廣まつた。それで眞面目な甲斐〳〵しい母親は、嚴密にこれを實施しようと努力するので、婦人の義務と云ふものは大變なものになつて來た。それ

で第一人目の子供の養育で既に澤山であらうが、後になつて第二人目の子供の養育には閉口し、爾後の妊娠はお斷りと云ふことになる。大抵の結婚では、夫なる人も、一二名の子供の後には、子供の數の増さない方が夫婦生活に都合が宜いと云ふことを悟る。併し男子は必しも小兒を殖さぬ爲に自分を抑制するものではない。それで妻女の方では更に妊娠することを躊躇すると云ふ所から、夫婦間に甚面白くない葛藤の起つた實例を私は知つて居る。併しこの種の喧嘩では殆ど毎常婦の方が勝つのである。

少數の家族の中には、三人、四人或はそれ以上の子供を持て居る家族もある。かういふ夫婦の間にはその原因を訊して見ると、最初の子供が女兒その次も女兒なので、男兒の嗣子を得たいと云ふ希望から男の子の生れる迄四人、五人と殖えたのが多い。この類の夫婦關係は、吾々の觀察には顧みられずに居る。その餘の多產兒夫婦にありては、夫が妻に對して非常な權力を振まき、自分の我を通し、利己的で且つ無遠慮なのが多く、加之ならず往々暴虐な人間や、酒客や犯罪人などがある。斯樣な人間になると性慾上にもその權力を振つて、妻女は、その兒の低能たると否とを問はず、次から次と兒を生まなければならぬことになる。婦人と云ふものは普通意志が弱く且つ身體の發育も薄弱で、男子に對してその愛護の要求を主張するだけの力がないのである。

右の如き種々の例を比較觀察して私は次の如き結論に達した。卽ち男子に對する權利及び慣習上の女子の地位は、一配偶より生ずる小兒數の上に決定的影響を及ぼすものであると云ふ事である。婚姻に於ける女子の地位が強く且つ獨立的なるだけ小兒の數は少なくなると云ふ事がこれから言へる。三十年前には、女子の地位は、吾々に於ては今日よりも遙に壓低されて居つたもので、その結果は多產兒である。凡ての階級を通じて文化の程度の高まつた國例へば佛蘭西とか英吉利とか云ふやうな諸國に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は孰れも獨逸と同様であるが、特に北亞米利加合衆國の如きは、その好適例である。同國は、その經濟狀態は何れの國も及ばぬ程良好であるが、それにも拘らず人口增加は只移民に由るのである。合衆國生えぬきの家族と云ふものは殆ど少しも殖えない。婦人の地位の餘り好くない諸國は、これと反對の成績を示して居る、例へば伊太利、波蘭の如きがさうで東部猶太人の如きは、その模範とも云ふべきもので、その子供澤山なことは一種の諺になつてゐる位であるが、婦人の地位は甚だ不良である。然るにこの猶太人が獨逸その他の國に移住して、より高き文化程度に適應して來て、漸次有福になり、婦人の地位も好くなつて來る。さうなると、それに準じて子供の數が減少して來る。同一原則は何れの國民にも當はまるやうに見える。

こゝに於て、その所謂婦人運動の隨伴現象たる人口減少に對抗するには如何にすれば宜いかと云ふ問題が起る。婦人の地位が低ければ小兒が多く、その地位が向上すれば少くなると云ふことは事實としても、今更逆もどりをして婦人の地位を落すと云ふことは誰も望む所ではない。これには寧ろ母親の手による小兒養育の負擔を輕くすると云ふ方針で改善していくより他に仕方がない。これが爲には育兒院、幼兒保護所乃至これに類する種々の設備をして、婦人が毎日幾時間か小兒の養育以外の事に從事し得る時間のあるやうにしなければなるまいと思ふ。さうすれば婦人も亦男子と共に、自ら生む所の嬉々たる小兒の群を悦ぶに相違ない。

眼と鼻と物の味

莊司　秋次郎　述

誰やらが各國の料理を批評して『西洋料理は腹の料理、日本料理は目の料理、支那料理は味の料理』であるといふたが、如何にもさうらしい。併しこれはその特長を抽象したので、何れの國の料理でも味は

勿論、形色及び榮養價を顧慮しないものはない。只例へば日本料理は形や色を重じ、器物の形態色彩から物の盛方に至るまで細やかな注意が行屆て居るのに榮養價と云ふ點は餘り顧みない傾があると云ふだけの事である。

物の味といへば單に舌の尖だけの感覺のやうであるが、少し考へて見ると、これには他の感覺も種々に關與して居るのである。如何に美事な料理でも、これは全く榮養價の無い或は極めて不消化な物であると認めれば、それに由ても味は差引かれる。又榮養料理だと稱して、蛋白質は何匁、脂肪は何匁、鹽類が何匁、これで「ビタミン」A、B、Cが十分だと云ふわけで、その獻立方に從て料理して見ると、丸で季節はづれの不廉な材料で、而かもその出來上つた料理は、誰も食べたがらぬ變な物になる、これでも仕方がない。斯様なわけで、物の味には視覺、嗅覺は勿論、溫冷感覺も觸覺も聽覺さへも影響を及ぼすものであるから、食堂の明暗、室溫の調節から食卓の盛花や音樂までも顧慮しなければならぬものと思はれるが、その心理學的説明は複雜なるものになるから、玆には極めて簡單な二三の生理的實事を述べて、吾々が平素氣付かずに居る物の味と他の感覺との交渉を示して見ようと思ふ。

昨今は菊花の盛りで、如何にも美事であるが、一夕試みに菊の一枝を携へて、未だ點燈されぬ暗い室に入つて花瓶の前に端坐して見る。その菊の花の種類、色や形は十分熟知して居つて、明かに思ひ浮べることが出來る。併し少しも美しいと云ふ感じは起らぬ。これは、その美しいと云ふ感じは、主として視覺から來る。卽ち眼よりの享樂であることが誰にもわかる。

ところで今度は、暗い處で何か一つ支那料理の様な物を食べて見る。さうすると、それが何物だか丸で味がわからない。これは如何なる譯かと云ふに、その溫いものであるとか、何やらブリ〳〵するものであるとか云ふ冷溫の感覺や觸覺などは、明るい

處と同樣に働くが、この際には不思議にも嗅覺が働かないからである、卽ち吾々は暗い處で食べる時には少しも嗅がない或は殆ど物の香を嗅がないのである。暗い處では何の位味覺が鈍るかと云ふ事は、恰も夕食の最中に突然電燈が消えると、今迄喜んで食べてゐた食物も口中に在て何の味も無い樣になるのでもわかるが、その最も著しい例は、酒の飲み分けであると云ふ。佛蘭西其他葡萄酒の名產地では、高い給料を拂つて葡萄酒の利酒をやる鑑定家を雇つてゐて、此等の鑑定家は、一寸口に葡萄酒を含むだだけで、その葡萄酒の何處で何時頃出來たものか、その種類價格等を鑑定して誤らぬ程銳敏な味覺を有して居る。然るに最も老練家と稱せられる其等の利酒專門家でも、眼を塞いで鑑定させて見ると、大抵な者は、赤葡萄酒か白葡萄酒かさへも判別の出來ないのが普通であると云ふことである。

實際嗅覺が同時に働かなければ、物の味が無いと云ふことは、例へば蝦蟹等の肉は美味ものと稱せられて居るが、風を引いて鼻の詰つた時、又は試みに鼻を塞いでこれを食べて見ると、只ゴムでも嚙むやうにモク〱するだけで何の味も無いのでもわかる。然るに吾々は通常暗い處で物を食べる時には、卽ち眼を働かさぬ時には鼻も働かさない、その結果物の味が分からぬのである。もう一つその顯著な例を擧げれば、暗闇の中の喫煙である。煙草好きな人が、葉卷煙草に火をつけて、そのまだ紅くならない中に、これをくはへて暗室内に行く、そして火が消えたのではあるまいかと思つて頻に強く吸ふ。暫くして急に點燈すると、その人は濛々たる煙に包まれて居るのを發見すると云ふ有樣である。これは暗室の内で煙草の煙を見ない、從つて嗅がない、それで自分が現に煙草を吸ふて居るか何うかも分からないので、努めて強く吸ふのである。

此等の事實は既に昔から認められて居るのでカザノバーと云ふ人の書いた物の中にもストイック派の土耳古哲學者が次の如く言ふ所がある。「煙草を燻ら

す時の樂の第一は、その立昇る煙を眺める所にある。この樂の大切なことは、君はこれまで盲人が煙草を吸ふてゐるのを見たことがあるか、(莊司曰く、隨分見たことがある、但しいづれも喫煙癖がついてから失明した者である)、君は自ら試みに夜間燈光のない時、自分の室で煙草をのんで見るがよい。煙草に火をつけて、暫時の後、きつとその煙管を抛出してしまふだらう』。

これは全くその通りであるが、食物の味に就てもこの事實が屢ゝ小說などの間に現はれて來る、例へば彼のゾラーの「ジェルミナル」の中にもエチエンヌが眞暗な坑の內で、物を食べられないと云ふ處がある。斯ういふ風に視覺と嗅覺と味覺、その他の感覺が種々に相交涉して居るものであるから、料理でも美術の鑑賞でも、この點に注意することを等閑にしてはならぬと思ふ。催眠術では極めて著しい味覺や嗅覺刺戟の暗示を與へることが出來る、これは畢竟眠に視る所の視覺的認識の必要がないからの事である。昔は我邦でも西洋でも眼病患者は多く暗い室に置いて、所謂暗室療法を行つたものであるが、此等の患者は直ぐ睡くなると云ふ。私は眼科醫として實際自分で能く觀察して居るところであるが、眼科病室と云ふものは、他の外科や婦人科などの病室から見ると極めて陰氣くさいものである。眼病人の多く集まつてゐる室でも、その話が一向冴えない、何となしに陰沈たるものである。つまり人間と云ふものは、視覺を除かれると、その精神機能も沈衰して來ることを證するもので、彼の有名なる生理學の泰斗ヨハンネス、ミュルレルも百餘年前に既に『暗黑裡に於ては人間は決して特に機智に富むで居るものではない』と云ふて居るが、ほんとうの事である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

育兒

胎毒の話

醫學博士　竹內薰兵述

胎毒と云ふ言葉

胎兒は母の胎內に在る時から毒を持つて居て其れを持つて生れて來る、其れが所謂胎毒であつて、これを生れてから直ぐ出して了はなければならぬと云ふ考へが卽ち胎毒說である。赤ん坊が生れると直ぐ指で口の中の惡血を取り除き產湯を使はせ臍の緒を斷ち切つて、そして甘草の煮え汁卽ち煎汁藥を飲ませ、三日を經てから朱密及び牛黃を與へる、此の事は支那の隋や唐の時代の處方書に出て居る、我國でも平安朝時代に出來た日本最初の醫書と云はれて居る『醫心方』には、此の事が記載されて居る。そして之は、胸の中の惡い汁を去り、外から受ける惡氣を避ける爲めであると明記されてある。

併し實際胎毒說と云ふものが出て來たのは、支那の宋代であつて、其れ以來、生れたての子供に藥を飲ませると云ふ風習が盛んになつて來た、之が所謂胎毒下しの濫觴である。我國では之を『まくり』と稱し、今より一千百餘年前平城天皇が勅選された書物『大同類聚方』卷の八十に海仁草藥と云ふ處方が出て居る。其後近代に於ては、貝原益軒の書いた『大和本草』及び寺島了安の作つた『三才圖繪』にも『まくり』のことが記されて居る。『まくり』の主藥は海仁草、甘草又は蕗の葉、根等を混合したもので。『まくり根』とも云ひ『毒まくり』とも云つて居る。

胎毒下し

『まくり』と云ふは海草の一種で、毒を除くと云ふ意味に當る。俗間で『あまもの』と云ふ。これを『まくり』と同樣性質のもので、甘草などが主となつて居

る。彼の漢方で密薬と名づけて居るのは此の『あまもの』に匹敵するものであつて、之が我國の『あまもの』に對する漢名である。元祿以後になると、五香湯と云つて蕾香、丁香、木香、沈香、麝香等の煎薬が用ひられるやうになつた。之も胎毒下しの一の處方であつた。

是等の藥は、悉く一種の下劑或は吐劑であつて要するに、毒を吐かしたり下しさへすれば悉くなくなるものと云ふ考へであつたらしい、處が今日では實に荒唐無稽の説と考へられる。

近世醫學から見た胎毒

實際生れたての赤ん坊の腸の中に種々の不潔なものが入つて居るのは事實である。出生の場合に於ける羊水とか或は生れながらにしてある所に胎便などは矢張り出して了つた方が宜しいのである。併し此の腸の中にあるものを胎毒なりと名前を附けるのが間違つて居る。

今日では胎毒下しも、五香湯も用ひない母親の乳が正しく胎毒下し並に五香湯の働きを自然にするからである。子供を分娩してから間もなく出る乳は之を初乳と云ひ、外觀から云つても其後に出る乳即ち永久乳とは自から異つて居る又成分の上から云つても無論相違がある。生れて一二週間だけ此の乳が出て來るのであつて、此の間に子供が初乳を飲むことは啻に子供に對して榮養劑となるのみならず、同時に胃や腸内にある不要物を出して了ふ働きが備はつて居るからである。以上は生れて直ぐ即ち新生兒の場合に於ける話であるが、生れてから餘程後になつても胎毒と云ふ言葉が屢々用ひられる。子供の皮膚によく瘡が出來る、之は胎毒のせいである。子供に腫物が出來る、之も胎毒のせいである。子供がよく泣く、之も胎毒の爲めであると考へる。

現今の醫學から見れば、所謂胎毒には三種あるやうに思はれる。即ち第一は滲出性素質、第二は腺病質、第三は先天性黴毒である。現代醫學にては此の三つを別々に分けて居るが、所謂俗間の胎毒では之

を混合して無闇に胎毒と稱して居る。

（二）滲出性素質

滲出性素質は、生れて間もなく現はれて來る一種の體質で、其の第一特徴は皮膚や粘膜が爛れ其れが何時までも癒らない。例へば鼻風を引くと鼻の粘膜が爛れて何時までも鼻汁が出たり或は氣管支粘膜が爛れて何時までも痰が出て咳が長引く、感冒の爲めに咽喉が惡くなり、粘膜が爛れて何時までも咳が止まらない。又よく皮膚が爛れて瘡が出來る。殊に顏面から頭部にかけては、色々の刺戟を受け易いので自然、瘡も出來る。つまり爛れ易いのである。肱の曲り目或は脇下、腿等の如き刺戟を受け易い場所はよく爛れる、從つて常にじみ／＼濕り勝ちなので其の結果瘡が出來る。そして一旦出來た瘡は容易に癒らない。又た皮膚の爛れの爲めに頭や顏にはよく濕疹が出來、之れ亦た容易に癒らない。

之を概括して云へば、皮膚や粘膜の爛れが滲出性素質の特徴であつて、其の爛れは頗る頑固である。此の皮膚や粘膜に出來た濕疹や瘡を單に皮膚病であると云ふ考へで、根本の體質から來て居ることを忘れて、皮膚の手當ばかりして居る場合が非常に多い併し之は、體質に對する手當をしない內は中々癒らない。俗間では之を目して胎毒と云ふのであるが、實は滲出性素質の一つの現はれである。

滲出性素質の第二の特徴は脂肪の消化力が大變に弱いことである。故に親の乳でも或は牛乳でもよく不消化を起し下痢を見る、下痢を起さない子供は牛乳や母乳の脂肪が頭や顏に吹き出し其の爲めに瘡が出來る。之を治すには、皮膚病としての手當も必要であるが、一方には脂肪を含まない食物を與へなければならぬ。即ち牛乳で云へば脫脂乳の如きものを又少し年の長じた子供では牛乳でなく、重湯或は葛湯の如き脂肪の含まない食物を與へるが好い。併し全然脂肪を含まないと身體に害があるから、牛乳半分重湯半分位合せてやる方法を取る。

一體に滲出性素質の子供は皮膚並に粘膜の抵抗が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

弱いから、種々の病氣に罹り易い。殊に喘息に冒され易い傾向を持つて居て一生喘息持になることがあるから注意せねばならぬ。

(二)腺病質

滲出性素質の現はれて來る時期は先づ哺乳兒の間卽ち生後滿一ヶ年位のものであつて、其後は滲出性素質よりも寧ろ腺病質の形を以て現はれる。

腺病質は諸所の淋巴腺が多く腫れるので、外部から見ても判る頸腺或は項腺、腋窩腺、肋間腺、鼠蹊腺(腿の附根)と云ふが如き淋巴腺がそれ〴〵腫れる。そして皮膚や粘膜の抵抗が弱いと云ふ特質を持つて居る。

この體質は非常に結核に罹り易い。外の病氣よりも一層結核に對して抵抗が弱い。そして悲しむべきことには、我國の兒童の大多數は此の體質を有するものであつて、之は哺乳期以後兒童期全體卽ち十五歳までの間に明かに認むることが出來る。

此の體質に對しては、最も良き榮養と、十分なる光線と、新鮮なる空氣とを與へ、適當なる手當を加ふれば之を改善し得るのみならず、結核の感染を防ぐことも出來るのである。

此の體質には大體二つの型があるやうに思はれるその一は銳性と云つて銳い性質であり、他の一は鈍性と云つて鈍い性質である。第一型の銳性は身體が瘦せて居り、眼光凉しく鼻筋通り、睫が長く、見るからに怜悧さうな顏貌をして居る。美男並に美女である。實際に於て叡智であり、學校に於ける成績なども良好であるが、其の皮膚や粘膜は貧血して居て蒼白く見える、背には特有の肌毛が生えて、そして諸所の淋巴腺が腫れては化膿し、次ぎ〳〵と新しく腫れる腺がある爲め、時々發熱し、何處から出た熱か判らないやうな場合があるが、之は多く體內の深部にある淋巴腺の腫れた時に起るのである。又た食物に好き嫌ひが著しく、折角滋養物を與へやうとして勸めても取らない。第二型の鈍性と云ふのは之と反對に、體がぶく〳〵肥つて居り、睫は長からず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

脣は厚く、多くは絶えず鼻を垂らし、皮膚や粘膜の蒼白は鋭性と共通であるが、知識は劣つて居り、行動も敏活を缺き、時々不明の熱の出るのは鋭性の場合と同樣である。

鋭性も鈍性も共に早く齲齒になり易く、屢々種々なる病氣に冒される特徵を持つて居り、學校は缺席勝ちで食物に對する好惡が劇しい。而して此の腺病質素質の共通點たる結核に罹り易い體質であることに對して、或る人は結核に開放されたる體質と云つて居るが、誠に至言である。

（三）先天性黴毒

親の黴毒が胎內で子供に傳染し、其の害を子供に及ぼす病氣である。妊娠して間もなく親から黴毒を傳染した胎兒は、生れた時既に皮膚に著しき變化を來して居る。即ち一見して慘酷なる狀態を現はして生れ、顏や胸や腹や手殊に掌や足の平などに一杯瘡が出來、脣は厚く且つ龜裂して居り、肛門の周圍の如きはぐちや／＼になる程多くの瘡を生じ、それと共に內臟殊に肝臟脾臟等が著しく腫れて居るもので、生れて直ぐ死亡するか或は死んだまゝ生れると云ふ有樣である。之は胎兒黴毒と呼ばれてゐる妊娠後稍々時を經て親から黴毒を感染して生れた子供は、其の容態を現はすのに多少時間を要する。即ち普通のは生後二三週間或は一二ヶ月後に於て漸く容體を現はすが、漸く七八歲になつてから現はれるやうな場合もある。此の遲く七八歲になつて現はれて來るのを遲發性先天黴毒と云ひ、早く現はれて來るのを普通先天性黴毒と云つて居る。

然らば普通先天性黴毒は何んな徵候で現はれるかと云ふに、生後一、二週間にして鼻閉塞とて鼻がぐず／＼云つて居る。併しぐず／＼云ふが鼻汁は出ないで、時に血或は膿の出ることもあるし、又た全くから／＼であつて鼻が唯だ腫れて居ると云ふこともある。之は黴毒性鼻閉塞の特徵である。此の外、頭髮が少し引張つても脫けたり、發疹が身體の諸所に出來たりするが其の發疹は殊に胸、腹、手掌、足の

裏に多い。次に皮膚や粘膜が著しく蒼白で、爪の發育は不全で縮んだやうな形を取るものである。輕いのは泣聲も丈夫であり、乳を吸ふ力も強いのであるが、稍や重いのになると、聲も弱く旨く乳が吸はれないものである、之と同時に身體の內部にも變化が起り、脾臟並に肝臟が著しく腫れて、骨も黴毒の侵す所となり、骨端が腫れて自然に脆くなつて斷離を起す、又た裂創が口の周圍や肛門の周圍に起り、容貌凄じくなるものである。之を放擲して置くと、血液中の黴毒、換言すれば黴毒の原因たる「スピロヘーター・パリーダ」といふ波狀菌から出す毒素の爲めに心臟も弱くなり、結局死に陷るのである。

遲發性先天黴毒は幼稚園頃の小兒に現はれる黴毒でその以前には何等の容體をも示さない。其の症候は、皮膚の色は蒼白で、身體は瘦せて居り、一體に虛弱であるが其の外、先づ眼が惡くなる、卽ち眼に曇りが來て見え惡くなり、放任すれば眼全體が曇つて了ふ。次に齒が惡くなり、一種の挾れた形狀となる、殊に前齒に於てさう云ふ傾向が多く、之を「ハッチンソン」の齒と云つて居る。又た內耳に變化を來して耳が聞えなくなる。そして時々熱を出し、知識も從つて鈍り、其の結果所謂虛弱兒として殘るのである。

手當

以上述べた種類のものは昔は一般に胎毒と稱して居た。今日でも所謂傳統的通俗的には猶ほ斯く唱へて居る。併しながら、病氣に對する手當がそれぞ〳〵違ふのであるから、漫然と胎毒であると云つて了ふ譯には行かない。

世の中には胎毒治すべからずと考へて居る人もある。例へば顏に瘡が出來たり頭にぶつ〳〵が出來た場合に、之は放擲して置くに限ると云つて、偶〻之を治すべしと注告するものがあつても中々肯んじない人がある。之は非常な惡習であつて、適當なる手當を以て治療すれば何等の危險なく過誤もないのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生れたての子供の胎毒に就ては、胎毒下し或は五香湯の如きものを用ふるのは誤りである。矢張り其の產んだ母親の乳を飮ませるに限る。母乳は胎毒下しや五香湯以上に妙力を有すること云ふまでもない。

胎毒の中で滲出性素質は、脂肪に對して弱いものであるから、脂肪を含まない食物を與へた方が好い卽ち脫脂乳を與へたり或は乳と共に重湯葛湯又は「メリンスフード」、「オートミール」、日本の製品で云へば「キノミール」等が好い。近頃粉乳が盛んに製造され其の中には全乳を其のまゝ粉末にしたものもあり又た脫脂乳を其のまゝ粉にし罐詰として賣出して居るのが大分多いから、之を適當の分量だけ匙で掬ひ湯を混ぜると卽座に脫脂乳が出來て大變便利である。殊に罐詰だから腐敗の憂ひがない。森永の粉「ミルク」或は「デリゴール」等も脫脂粉乳である。

腺病質は滲出性素質と異り、脂肪を是非食はせなければならぬ體質であるから、鰻の如きは強て食はせる方が好い。殊に肝油は此の體質の子供に最も效能があるから與へるやうにする。肝油としては「スコット」乳菓の如きは古くから最も有名である。併し殘念な事には所謂乳劑の形であるから飮むのに不便である。從つて子供には用ひにくい場合が多い。その缺點を補ひ「ドロップ」のやうな菓子の形にして發賣されて居るのが多い。我國にては「ミツワ、ドロップ」の如き卽ち是で、子供は喜んで食べる。

滲出性素質も腺病質も共に空氣と光線とを潤澤に與へなければならぬ。殊に腺病質には脂肪の外に成るべく多くの滋養物を與へるが好い。併し特に藥品を用ふることは何等かの餘病の出ない限り必要はない。

先天性黴毒は矢張り大人の黴毒と原因が同じで、「スピロヘーター、パリーダ」と云ふ波狀毒から來たものであるから、彼の六〇六號卽ち「サルバルサン」或は日本製「アルサミノール」の如きものを筋肉內又は血管內に注射する。其他水銀劑の塗擦もよし、又

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

甘水を飲ませてもよい。先天性黴毒のコドモには必ず人乳を與へねばならぬ。又健康の婦人の乳を呑ませると乳兒から黴毒を受けることがある。

乳兒の體操

醫學博士　三田谷啓述

A

兒童の體操は身體を强健ならしめ、更にその發育をすゝめるものであるから、乳兒にもやらせてはどうかと言ふことが問題になり得るわけだ。實際健康の乳兒は醒めて居る時には合理的の體操練習を自分でやつて居る。上肢や下肢を伸ばしたり縮めたりする運動は迚も學校生徒などの及ぶところではない。それのみならず胴も可なりよく動かして居る。之は自然の要求に基づくところの運動で、乳兒が自己の自覺的の操作ではない。しかしその本能の强いことは生後六、七ヶ月の乳兒が强い力で四肢の運動を妨げる衣服や襁褓を除かんとする努力を見てもわかる。又坐し、匍ひ、立ち、歩むためにどれ程練習と努力とを積むかわからない。そしてそれは殆ど人工的の補助を要せずして自然に合理的に進歩する。斯くの如く運動慾がますます盛になると發育も進み同時に物質交換が旺盛になる。年をとつて發育が緩徐になると、それにつれて活潑なる本能的の運動は減じて來る。

二

斯樣なわけであるから健康の乳兒は特別の體操を行ふに及ばぬ。自然に起る本能運動で十分だ、別に人工的の補助は要らぬ。しかし不合理の衣服や寢具でこの自然性の運動を妨げてはならぬ。しかし實際上には衣服、襁褓、寢具等によつて乳兒の本能的運動をどれだけ妨げて居るか知れない。夏の暑い日には乳兒を裸體にして數時間自由に遊ばせることも出來る、如何に喜んで本能運動を續けるか知れない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冬の寒い時分に溫めた室內で暮す乳兒も、一日の中適當の時間に戸外で空氣浴をとらせることが必要である。

健康の乳兒や幼兒が自然性運動を要求する場合には勿論それに應じた遊び場所が要る。この運動に最も善き教師は兒童の仲間である。若し自動的運動に興味がなく、筋肉の弱いコドモに對しては他人の補助が必要だ。

三

自動的運動の少ない乳兒は精神障碍、精神病的性質を有して居て隨意的の生活現象も極めて不活潑である。斯種のコドモは非常におとなしくて、身體の運動は著しく制限されて居る。

筋肉の弱いコドモは佝僂病の場合に顯著である。この病氣の重いものは少いが輕いものは隨分ある。この病氣は骨の發育も惡いし筋肉は極めて薄弱で、顯微鏡下でも證明されるし、又手に觸れて見ても極柔いことがわかる。その結果運動が不活潑になるのである。

其他コドモが長い間疾病に罹つた場合(萎縮)には身體の作用が鈍い。斯かる際には人工的の補助のあつた方がよい。佝僂病の場合には成るべく早くこれを強くする方法を講ずることが肝要である。これは骨や脊柱の彎曲を豫防する點に於て必要である。それで餘程以前から佝僂病性コドモに「マッサージ」を行つた。これを被動性體操と言つて居る。これによつて筋肉を強くすることが出來る。最近になつて乳兒の體操に關する實驗や理論が大分盛になつた、それに關する著書の中でもノイマン・ノイローデ、バイエル及びウインテル、エンゲル及びルンゲ、デッペ、ツアプスキー等のものが有名である。

四

乳兒の體操に機械は要らぬ。只母の手と腕と胴とを使用すればそれで十分だ。背を下にして臥つて居る乳兒には四肢を伸縮させる運動を毎日數十分間行はせる。母の一方の手をコドモの項の處に、他の一

方の手を臀部にさゝへると乳兒の背部の筋肉の練習になる。コドモを腹匐にさせて腰椎の部分を觸れると脊筋が伸びる、左側位をとれば胴の左側が出る、右側も同樣。適當の方法を用ふればどの運動でも行ひ得る。コドモが坐し、立ち、歩むやうになれば、運動の種類も殖えるし且つ單簡なる裝置を用ひて練習を續けることも出來る。例へばコドモの倚りかゝる椅子の如きものである。これがあると脊部の調子的伸縮を行ひ得る。斯くて實際上種々の應用範圍を工夫し得られるものである。しかしこの場合最も必要なることはこの方法を用ふるに方り不斷の努力と忍耐とである。幼少のコドモに體操的の行爲をやらせるには遊戲のやうにして導かねばならぬからである。素より實施に際しては系統的であることが大切である。又コドモに練習上の勇氣を鼓舞するやうに導くことも肝要である。しかし實施中に痛みがあつたり苦が伴ふことがあれば勇氣は失せて繼續することを好まなくなる。

斯くて系統的、合理的方法によつてコドモの身體練習を行はせて效果を見ることは確である。しかし生兵法は大怪我の元である、乳兒及び幼兒の體操を行ふに際しては先づ醫師とよく協議し、その方法、程度等につきて遺漏なきやう心がけねばならぬ。

赤んぼの目

莊司　秋次郎　述

生れたての赤んぼの目は、餘り立派なものでありません。眼瞼の皮膚は小皺があつて而かも幾分浮腫があるやうに見え且つ赤味を帶び、瞬目が至て鈍いから、見ばえのないものです。

それはさうでせう過去十個月の世界とは丸で趣を異にする世界に出て來たのですから、これまでは母親の血液から直接に養はれてゐたものが急に乳を吮ふてこれに代へることゝなり、今迄水の中に浮いてゐたものが突然空氣中に呼吸することになり、實に

驚くべき世界の轉變で、光線の刺戟に對しても、これに應ずる眼と云ふものが既に出來て居つたので、驚きの目を醒ますが、何分初めての事とて眩しい。瞳孔も小さく黒目も全體にどんよりして光澤がない眼瞼の運動も不活潑で、時々細目に開くが忽ち泣顔と同時に閉ぢてしまふ。眼球は何處を視るともなく勝手な方向に動く。しかもこれが將來腦髓の發達、全身の發育に伴うて、男子は三萬の軍兵を睨め返すの眼精となり、女子に於ては又その男子を惱殺するの眼色となる。人の胸臆を透見し、眼光紙背に徹すと云ふも實際の形容である。

斯くも驚嘆すべき眼の發達も、時として前述の如き初生兒の狀態に止まつてしまふことがある。これは如何にも殘念なことで、眞に人生の一大痛恨事ではあるまいか。

その原因を尋ぬれば、種々の先天的の異常に因るものも尠くないが、それは姑く措き、茲に容赦すべからざる二大原因がある。それは親の淋疾と黴毒とである。世に生來の盲人或は幼少の時からの盲人と稱するものゝ大半は、この二大惡疾の罪に歸すべきものである。

今日に於ては、その豫防法及び治療法の進歩に依て幼兒の失明と云ふ不幸は、往時に比すれば遙に少なくなつたには相違ないが、それでも吾々眼科醫は尙ほ常にこれを認めるのである、これも亦多くは親の罪たるを免れない。

これを防ぐには、親たる者の不行跡を戒め、無智を憐み誨ふべきは勿論第一の根本條件ではあるが、現實の世界では、その效果は甚だ微弱たるを免れない。依てこれが應急手當としては、斯樣な親共に由て生まれた憐むべき小兒を、その病毒の害惡から救ふより外に仕方がない。これは今日に於ては、大半能くし得る事である。只親の不注意或は怠慢に由て一生暗黑裡に人生を過さねばならぬはかなき盲兒をつくるのである。

依て茲には、その淋疾と黴毒との爲に幼兒の最も

多く失明するに至る經過の概略を記して、育兒に心ある人々の參考とする。

甲、初生兒膿漏眼　初生兒にこの眼病の起る時は大抵その父親に淋病がある、少くとも母親にその病毒が殘つて居る。その淋菌或はこれに類した病原菌乃至その病毒が、出產に際して小兒の眼に入つて起るものである。成人の淋疾性結膜炎、所謂風眼と同じものである。膿性の分泌物が湧くが如く流出るから膿漏眼と云ひ、その發病、失明、風の如く疾き所より風眼と稱せられたものである。

これが如何に起り、如何なる經過をとるかといへば、小兒が生れて凡そ四五日目頃から眼瞼が赤く腫れて、分泌物が多くなる。

これに氣の付いた時に直に眼科醫の處置を受ければ十中八九、否殆ど總て助かるが、翌日になると、その症狀が增惡する。それでも尙ほ、大した事はあるまいとか、產婆が生れた時に點眼をしてくれたのだから心配はないなどと油斷をして居る。甚しいのは、これで胎毒が出てしまふのだから構はずに置いた方がいゝなどと濟して居るのがある。併し更に一日を過すと愈々症狀は甚しくなり、眼瞼は熟した李の樣に赤く紫に腫れ上り、膿性の分泌は滾々として拭いても拭いても止まない。聊か心配になつて眼球を見ようとするが、此時には既に眼瞼の甚しい腫脹と絕間なき分泌物の爲に到底角膜の樣子などは見ることが出來ない。斯樣の際に強ひて小兒の眼を開いて見ようとすると、溜つてゐた分泌物が勢よく迸出して、この無謀な檢者の眼に飛込み、それと同時に既に破れかゝつてゐた小兒の角膜に孔があいて、兩樣の危險を來すことがある。

此の時期に至れば、大抵已むを得ず眼科醫の門を敲くが、尙も大膽に硼酸水などを賴りに一夜を過すと、幾分眼瞼の腫脹も退き、分泌物も稀薄くなつて來た模樣である。そこでこのまゝ二三日すれば癒るであらうと喜び、或はそれとも念の爲め一寸眼科醫に見てもらはうか位の考で診察を受ける。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに何ぞ計らん、この時期が最も危險な時で、角膜には大きな潰瘍が出來てゐて、裏には虹彩が癒著き、或は既に昨夜の中に破れて、虹彩や水晶體など云ふ物が、その孔の處に顔を出してゐると云ふ始末で、何とも手のつけやうがない。これが先づ初生兒膿漏眼に因て失明するに至る普通の經過であるが、兩眼同時に同一經過をとることは稀で、大抵一眼が發病して二三日乃至數日の後に他眼を侵して來るのが多い。

最後に尙ほ一度繰返して云ふが、本症は、極めて險惡なる眼病ではあるけれども、早くさへ治療すれば大抵、全治するものである。又產婆が出產時に豫防點眼をしてくれても往々發病することがある。又淋菌にあらざる他の細菌に由ても類似の症狀を呈することがある。

乙、黴毒性虹彩炎　黴毒に因て起る眼病は非常に多く、その侵される部分に依て種々雜多な症狀を呈するものであるが、初生兒に屢々見るのは虹彩炎である。成人の虹彩炎であれば、眼が赤くなつたり痛みがあつたり、視力が妨げられたりして來るから直ぐ氣が付くけれども、初生兒は既に胎內に在て虹彩炎に罹り、而かも眼が赤くなつたりすることはない、極めて慢性に經過するので、親も氣付かずに居る場合が多い。併し暫くして滲出物の爲に瞳孔が閉されて灰白色に見えて來ると、變だと云ふことが分かる。或は他の小兒が既に物を見て笑つたり、顔を一定の方向に向けたりするやうになつても自分の家の子供だけがまださう云ふことがないと分かると近所のお婆さんに尋ねて見たり、醫者の診察を受けたりする。

斯ういふ場合に眼科醫者が診察すると、多くは、瞳孔閉鎖症とか、虹彩後癒著とか云ふものがあつて、その奥には如何なる重大な病變があるかわからないが、兎も角も黴毒性の眼病で失明して居ると云ふことがわかる。この場合、如何にのんきな母親に對しても、全く知らずに居る所に、あなたの子供さ

んは盲ですとは、驚かしにくい。そこで少し手柔に、あなたの子供さんは、どうやら重い眼病がある様だとか云ふて、出來得るだけの療法を試みるのが常である。

然し、斯様な氣の毒な眼病も、時期と場合とによつては僥倖にも治癒することがある。故に放蕩無頼の人間が、誤つてこの人生に子孫を遺すやうな場合には、責めては此邊に注意して同胞の難儀を輕減する位の事は考へなければならぬ。

私は實際、生後數個月になる、この種の盲目の兒を懷いて來た哀な母親に遭遇し、僥倖にも失明を免れしめることを得た二三の經驗を有して居るので敢て茲にこれを警告する次第である。

家庭衛生

化粧料に就て

本篇は大阪兒童學會總會に於ける醫學博士大久保直穆氏の演説要旨であります。

白粉には金屬が含有されてゐる、卽ち鉛、亞鉛、「アルミニウム」で、白粉中毒は鉛と亞鉛とによる、就中鉛によるものである。白粉中の鉛の含有量を基礎として三種に分つ。第一種白粉は酸化亞鉛を含有するもの、第二種白粉は酸化亞鉛に少量の鉛を含有するもの、第三種白粉は鉛より造られてゐるものとである。

中毒を起すものは第二、三種の白粉である。有毒なものは鉛である。中毒症狀は次の如くである。

一、貧血を起す、鉛が血液中の赤血球を破壞して稀薄とな

し、又膽汁液を出して皮膚を黄色に帶びた蒼白色とする。

二、消化器に障碍を及ぼす、腹痛、便祕、嘔吐、齒齦の黑變等である。

三、神經系統の障碍は頭痛、麻痺、神經痛、手足のしびれ、神經衰弱、痙攣、半身不隨、腎臟肝臟の障碍のため全身が腫れ脚氣の如き症狀を呈す。

乳兒に鉛の中毒を起す、又腦膜炎の症狀が起る中毒症狀は顏色惡く蒼白色、機嫌惡しく、腹痛、頭痛がするが如き泣き方をする。齒齦が黑くなる。爪の色が黑褐色となる。痙攣を起す。是れ等は適當な處置を施せば治る。全治する場合あるけれども後に病を殘すことがある。卽ち手が動かなくなる、眼が見えなくなる。腦の發達が惡るいなどである。

婦人が白粉に注意すれば我が國の乳兒死亡率の上に著しい變化を與へることが出來ると思ふ。第一種の白粉は無毒であるが不注意にこれを用ふれば第二、三種の白粉中毒に似た症狀を現はす。

白粉中の酸化亞鉛は可成純良な酸化亞鉛を用ひてあるが、これには極めて微量な鉛を有してゐる。十萬分の一位である。これが毒性を呈するか否かをみるために、百萬分の一の溶液を用ひて動物に試驗してみた結果、鉛の中毒と認むべき變化を認めた。亞鉛の實驗は餘り多くない。要するに現在の白粉中には製造藥品酸化亞鉛の中には微量の鉛を含んでゐるが故に、第一種白粉に於てもこれを不注意に用ふれば有害である。

化粧料使用の注意としては含鉛のものを用ひぬこと、特別よきものを用ふるとしても注意すること。分量少く、胸につけないこと、手をよく洗ふ等のことである。

小兒が鉛中毒を起すのは、母親の手、及び乳房についた白粉が小兒に禍を及ぼす原因となる。又酸化亞鉛は醫藥として用ひられ小兒のあせもにも使用されるがこの代りに「チノール」を用ふるとよろしい。

白粉の鑑別法は、白粉の固りを醋酸、又は硝酸に

溶かし、これを濾過して重「クローム」酸加里を一滴落し(硫酸を落しても宜し。これは玄人向で鉛があれば白い沈澱を生ずる)てみると鉛があれば黄色の沈澱を生ずるものである。

色の組合せ

染色や編物服裝等の婦人の手藝に必ずついて廻る色彩の知識や色彩の組合せの利用法の基準となる新案の色彩表を紹介しませう。先づ純粹の赤、青、黄の三原色から三十七色を作り出す順序を示せば赤と青と黄の三色を交ぜると黑になり、黄と青の取組では同一量を混合した場合は純粹の綠、黄が勝てば草色、萌黄色になり青が勝てば青玉石色、孔雀色になる。

赤と綠の配合では等分にすると紫、赤が勝てば唐紅色、眞紅色、青が勝てば菫色、紫紺になる。第三に赤と黄の取組みでは等分が橙色、黄が勝てば金簪草色、鬱金、赤が勝てば焰色、緋に變る。今度は新らしく出來た綠と赤を取組ますと綠が勝てば「オリーブ」色、赤が勝てば「インディアン」赤が生れる。同じ筆法で紫と黄の配合では紫が勝てば「ニグロ」茶、黄が勝てば眞の茶が出來る。橙色に青を配すと青が勝てば暗色綠、橙色が勝てば土色になる。今度は紫と綠と橙色と二つ宛組み合すと紫と綠が等分なれば灰色になり紫が勝てば藍鼠、綠が勝てば「オリーブ」鼠。綠と橙色の取組みでは等分は純綠、綠が勝てば灰色綠、橙色が勝てば落葉色最後に橙色と紫を取組ますと同量配合なら茶が出來、橙色が勝てば金茶、紫が勝てば銅色になり之で丁度三十七色を作り上げる事になる。

(東京小間物化粧品商報)

殺鼠劑の迷惑

蠅と鼠は傳染病の傳播者、媒介者として最も怖るべき厄介な有害な動物であるから、努めてこれを撲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

滅しなければならぬと云ふことは、今日誰も異存はないわけである。たゞその撲滅方法がむづかしい。それで何れの驅除法、撲滅法にも利害得失があつて思ふやうにゆかないのは已むを得ぬ次第であるが、殺鼠劑、所謂猫不要は良いか惡いか考物である。蠅は屋敷の周圍まで清潔にさへして居れば除けることが出來るし、便所や塵溜に石油乳劑でも入れゝば撲滅することが出來るけれども、鼠はなか〳〵その位の事では防げない。併し鼠とても流下を清潔にし臺所を整然とすれば、妄に侵入して來るものではない、即ち鼠の餌になる物を少しも出して置かなければ寄りつくものではない。然し我國の普通の家屋は何處から何處まで鼠と共同生活する樣に出來て居るので、食物までもこの共產黨員に侵される。實に不快極まることではあるが、急に致し方もない。そこで猫を飼つて置けば宜しいが、これまた好嫌があり、嫌となつては猫も亦鼠に劣らぬ厄介な動物になるから何れの家でも猫を飼ふと云ふわけにもいかず、鼠捕籠や拑鋏を仕掛けるけれども、思ふ樣にはかゝらず、そこで殺鼠劑を用ゐることゝなる。その殺鼠劑が一番效能がある樣であるけれども、これ亦一利一害で、而かもその害が他の方法よりも餘程甚しい、依てその效は效として、茲には害の方を述べて世の一考を煩はすことゝする。

猫不要の主藥は燐であるから、これを食へば鼠だけとは限らず、猫でも犬でも死ぬ。それで近來は鼠の代りに往々これを服用する人もある。斯樣な人々は各々その必要に迫られて飲むのであらうから御勝手として、小兒が過つてこれを飲むでは實に一大事である。即ち急性燐中毒の症狀を發して劇しい腹痛を訴へ、燐の臭氣があつて、暗い處では光を放つ物を吐き、次で下痢を起し、體溫が降り、脈が弱くなり、心臟痲痹を來して死ぬ、急に死なゝければ黃疸、肝臟腫大、蛋白尿、粘膜出血等種々の症狀が起つて來る。

若し誤つて斯樣な事が起つた時には、直ちにその

旨を告げて醫師を招くと同時に、若し家庭に持合せの硫酸銅があれば、その〇・五乃至一・〇「グラム」位を水に溶かして飲ませる。それは吐劑として胃に在る燐を吐出させるのみならず、殘の燐を酸化して無害にし、その溶解吸收を防ぐ效がある。醫師は胃の洗滌その他種々適當の手當を加へるに相違ないが、醫師の來る迄の間に、あわてゝ他の中毒の場合の如く牛乳や卵又は蓖麻子油などを飮ませてはならない。斯樣なものを與へると燐が溶けて、早く吸收されることになるからである。

右の如き過は別として、殺鼠劑を食ふた鼠が天井裏や臺所の隅などに潜むで死に、夏分は蛆が涌いて四方に匍出すと云ふ樣な事が珍しくない。これは大抵の家で經驗して居ることで、何が衞生やら分らないことになる。

長崎とか大坂に「ペスト」患者が發生したと云ふとあわてゝ東京市内に殺鼠團子を配布されるが、あれは善いか惡いか、又他に何か名案が無いものであらうか、會員諸姉の御研究を煩はす。

〇小學校齒科衞生施設建議

日本聯合齒科醫師會は今回左の如き「小學校に於ける齒科衞生施設に關する請願」を文部省に提出せり。

小學校齒科衞生施設に關する建議書

學童の善良なる心身の發育を希望することは國家百年の大計の爲め極めて重要なることは言を俟たざる所にして此目的の爲に各種の保健衞生上の施設に遺憾なきを期せられつゝあることは勿論の儀と存候へ共現在七十五乃至九十八%の齲患率を有する腐蝕齒豫防竝其處置に對する齒科衞生施設に關しては殆ど何等の公的施設を見ざることは恂に遺憾に堪えざる次第に有之候

齒牙疾患が兒童心身の發育に極めて重大なる影響を來すことは敢て贅言を要せざる所に有之然も學齡期に於て各種の齒科保健的注意を要するもの多々有之候事實並に此時期に於て僅少なる注意を拂ふ

ことに依り殆んど完全に之を豫防し得べきものなることに想到すれば速かに左記各項の施設に付御考慮相煩し度と存候

一、學校齒科醫を設置せらるゝこと

歐米に於ては何れも學校齒科醫を設置し更に其助手として齒科衛生手なる婦人を養成して最も滿足なる結果を收めつゝあり

我國に於ては學校醫規定を設けられたれ共其中には齒科醫を包含せずして極て杜撰なる齲蝕齒の有無の檢査をなすに留まれり。今や齒科醫師の數は全國に壹萬を算し之を學校齒科となすに敢て不足を感ずることなし殊に從來嘱託制度に依りて相當の成績を擧げつゝある事實に鑑み近來頓に其要求の聲の盛なるは學校衛生主事會議等に於ける輿論に徵するも明かなり

依て速かに學校齒科醫に關する規程を制定して其實現を希望するものなり

二、教科書中に齒科衛生に關する記事を插入して兒童に齒科衛生的知識を授くること

現在の國定教科書は尋常小學校及高等小學校を通じて齒科衛生に關する記事の片影だも見ざるは惘に遺憾なる次第なり

依て教科書編纂の場合文部省は特に注意して齒科衛生に留意すべき樣の記事數項を教科書中に插入せらるゝ樣注意せられたし

三、學校齒科治療所又は齒科衛生上必要なる設備を小學校内に設置すること

歐米各國の主要都市には何れも學校齒科治療所又は學童齒科診療所の施設ありて徹底的に兒童の齒牙を保護するに努めつゝあり

本邦に於ても理想として如斯施設の一日も速かに實施さるゝことを希望するなれ共今直ちに之を普く實行することは困難なる事情の存すべきを虞り少くとも學校内に洗口場を設備して授業時間後、食事後等に於て含嗽齒刷子使用等の便宜を與ふべき設備をなすべきことを慫慂せられんことを希望す

既に此點に着眼せる某々小學校に於ては地方當局に迫りて其經費の支辨を受け着々其設備を完成して兒童齒科衛生上極めて好成績を擧げ居る數例を見聞せり

依つて當局に於て之を慫慂するの方針に出らるゝ時は少くとも學校齒科衛生上一段の進歩を見るべきは明かなり

右大正十三年四月三重縣宇治山田市に於て開催したる本會第二十二回定時總會の決議に依り謹んで及建議候也

大正拾參年八月十三日

日本聯合齒科醫師會長　血脇守之助

文部大臣　岡田良平殿

○東京市の屎尿汲取料金改正

東京市衛生常設委員會に於て決議されたる左の議案は明年度より實施さるゝこととなれり。

屎尿汲取受託料金改正竝汲取石數增加の件

市は屎尿汲取緩和の目的を以て大正十年十月より一日の汲取量を二千石として別紙(略)受託方法に依り實施し略々所期の目的を達する事を得たり。然るに昨年の大震火災の爲市は一時全市に對し屎尿の無料汲取を實施せしも周圍の狀況稍々常態に復せしを以て十一月二十六日より一日三千五百石を限度とし從前の規定に依り料金を徵し區役所より給養を受くる罹災者に對しては無料汲取を施行せり。

大正十三年度に於ては再び一日二千石とし略〻從前の汲取區域に止めたるに隣接町村の急激なる發達は農家の需用を減少し復歸者の增加するに拘はらず、營業者の汲取之に伴はざる爲、市の確實なる汲取に委託せんとする者日に多きを加へ區役所によりては制限外受託に應ずるの已むなきに至れるものあり、今や市民の直營汲取擴張を希望するもの單なる料金問題のみにあらず、加之市の受託料金の低廉は曾ては營業者に對する牽制なりしもの今日に在りては脅威の嫌なしとせず。依て市は料金を改正して收入を增加し以て每日の汲取石數を增加せんとす。

一日の汲取石數

一、二千五百石　但し現在は一日二千石

一荷に對する汲取料金

一、金十五錢(下町方面)神田、日本橋、京橋、下谷淺草、本所、深川

一、金二十錢(山の手方面)前記外八區　但し現在は下町、山の手方面とも金十錢、汲取料金に依る收入

一、四十二萬七千七百三十四圓

一日二千五百石　三百六十五日分(二百二十八萬一千二百五十荷)

內譯下町(四分の一減)五十七萬三百十二荷(八萬五千五百四十六圓)

山の手(四分の三減)百七十一萬九百二十八荷　(三十四萬二千百八十八圓)

但し現在は金十八萬二千五百圓　(一日二千石三百六十五日分百八十二萬五千荷)

○乳幼兒死亡低減員

內務省保健衞生調査會にては一昨年の總會に於て內相諮問の「乳幼兒死亡率低減に關する對策如何」に關し特別委員を設けて審議中の處、昨秋の震災にて原案全部燒失せるため、本年六月更に委員會を開き善後策を講ぜるが去月十七日の委員會に次ぎ本月更に小委員會を續開し具體的に決定する筈なりと。

○兒童敎養通信相談部

醫學博士三田谷啓氏を所長とせる兵庫縣蘆屋局區阪神兒童相談所にては、從來の兒童相談所を擴張し、左記の如き趣旨にて兒童敎養に關する通信相談部を開始し三田谷博士、入間田學士その應答に當らるゝ由。

兒童敎養の相談に關し遠方から書面にて問合せの方々が多數あります。しかしその中には要點が拔けて居て適確の回答を仕兼ねることも往々あります。そこで今回兒童の敎養問題にて苦んで居らるゝ人のために徹底的に相談を實行するため本所內で通信相談部を設けることに致しました。相談御希望の方は郵券二錢を添へ記入用紙を請求して下さい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮大妃周子殿下

會長 侯爵夫人 鍋島榮子

副會長 子爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

理事 鳩山春子
同 岡田德子
同 山口貞子
同 三浦敎子
評議員 入澤常子
同 服部繁子
同 子爵母堂 仁禮壽賀子
同 緒方悅子
同 小川孝子
同 片山龜子
同 丹波貞子
同 男爵夫人 南部隈子
同 松平芳子
同 男爵夫人 吉市幸子
同 相磯まさ子
同 岸澄子
同 宮本樂子
同 守屋千代子

同 長谷川仲子
同 高木鐐子
同 天野多喜子
同 羽田三緒子
同 原光子
同 土肥多越子
同 岡山とし子
同 男爵母堂 加藤鈴子
同 吉岡彌生子
同 高橋孝子
同 中濱芳子
同 子爵母堂 松井正子
同 近藤憲子
同 男爵母堂 青山孝子
同 菊地峯子
同 三宅藤子
同 瀬川さわ子

大正十三年十一月二日印刷
大正十三年十一月五日發行

東京市本鄕區駒込千駄木町五十八番地
編輯者兼發行者 莊司秋次郎

東京市本鄕區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴山則常

東京市本鄕區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資會社 杏林舍

東京市本鄕區駒込千駄木町五十番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本鄕區龍岡町 吐鳳堂
同 市銀座三丁目 東海堂
同 市京橋區鈴屋町 良明堂
同 市本鄕區龍岡町 南江堂支店
同 市芝區愛宕町 明文館
京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本鄕區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陣痛催進劑
ピツイトリン

ピツイトリンの産婦人科領域に於ける聲價は實に隆々たり。之蓋、本品は子宮に作用して之を收縮せしめ、而も他の子宮緊縮藥に於けるが如く、其性質強直性ならず、〇・五乃至一・〇ccの注射により、能く速に陣痛發越を來して、産期を短縮せしむる效果、顯著確實なればなり。

ピツイトリンは又強心、止血、利尿の作用ありて種々なる内科的疾患に試みられつゝあり。

【文獻御申越次第進呈す】

[illegible]球一cc入
十三管壹箱

姙娠惡阻特效藥
ユゴール

ユゴールはドクトル飯田左三先生の發見せられたる惡阻の治療藥にして、多數實驗家の臨牀成績は姙娠惡阻に對し、顯著確實の奏效を示したるのみならず一般諸種の嘔吐患者に對しても亦用ふるに足る藥劑なるを明にせり、而してユゴールは些の副作用なく、之れが應用は何等の不安、何等の顧慮をも要せずと稱せらる。

【文獻御申越次第進呈】

◆賣品種類◆

注射用ユゴール
一cc輸球十管入

内用ユゴール
錠球（〇・三瓦）五十錠入
四百錠入

本社　東京室町

發賣元　三共株式會社

出張所　大阪淡路町　臺北府後街

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN